

Weekly Report

～ わが家の省エネ・節電大作戦 ～

NO.61

今週のテーマ

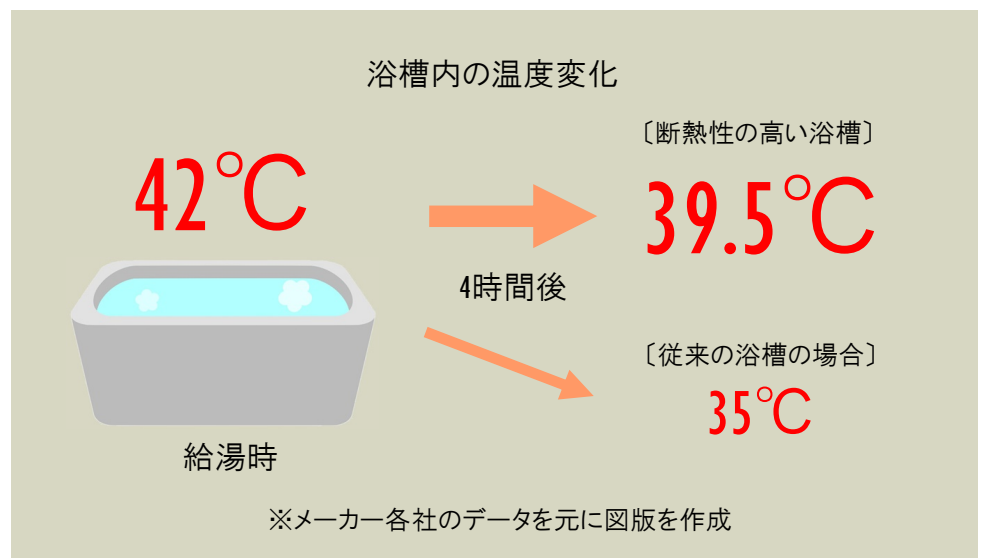
「省エネ住宅を知る」

住宅設備の省エネ化Ⅱ(浴槽)

「風呂好きな国民性」



愛媛県の道後温泉は、3000年の歴史を誇り、日本書紀などにも記載されるほどの名湯です。古来より日本人はお湯につかる文化を持っており、今でも温泉旅館業を営む数は、全国で約79,000(平成27年3月末時点)施設あり、多くの人々に「ひとときの癒やし」を提供しています。



今回紹介する住宅設備は断熱性能の高い浴槽です。私たち、日本人にとってのお風呂とは、日々の疲れを取り、明日への英気を養うためには欠かせません。

家庭で使用するエネルギーで給湯が占める割合は27.8%(エネルギー白書2015)と無視のできない多さです。使用するシーンを想定すると、キッチンや洗面所での使用、そして風呂場での使用ではないでしょうか。入浴では浴槽に大量の湯(150～200ℓ程度)をはり、家族全員が入浴を終えるまでに保温や足し湯、そして身体の洗浄や洗髪に用

いられるシャワーなどにも大きなエネルギーが使われています。

近年、断熱性能の高い浴槽や浴槽のフタが登場し、お湯の温度低下を極力抑える製品が登場しています。上のグラフは一定の条件下で、既存の浴槽と断熱性能の高い浴槽の時間経過に伴う温度の変化を表したものですが、4時間経過してもお湯の温度低下は2～3℃といわれています(詳細情報は各社製品を参照のこと)。もちろん、浴槽だけでなく、浴室自体も断熱材などの使用で、熱移動を抑えなければなりません。

エクシーズ株式会社

2017-04-03号 No.61

〒120-0036

東京都足立区千住仲町11-12

千住彩館602

TEL : 03-3882-8446

URL : <http://www.exceeds.jp/>

次回は04月10日(月)「住宅設備の省エネ化Ⅲ」についてです。